

アナログオーディオ&ゆとりライフマガジン

令和2年11月15日発行(年4回刊) 第17巻第1号通巻69号 ISSN1349-595X

季刊・アナログ

2020
AUTUMN
vol. 69

Phile
web

analog

心の友は、
和ものレコード

10万円以下20モデル試聴対談
カートリッジ
新定番を掘り出せ!

P10
REGA

レコーディングエンジニア
内沼映二
インタビュー



英国コード・カンパニー、LANケーブルの魅力と新登場のスイッチング・ハブ

ネットオーディオを 究極のアナログ再生に導く

英国のケーブル専門ブランド、コード・カンパニーから初のスイッチング・ハブが登場という朗報が飛びこんできた。そういえば近ごろアナログ仲間もネットオーディオ再生に熱心で、オーディオ専用のハブとやらを自慢されたことがある。LANケーブルの分配器に過ぎないハ

LANケーブルの実力を生かす
スイッチング・ハブを新開発

レコード再生を愛する本誌の読者の方々の中には、ネットオーディオ再生システムも同時に構築して、究極のアナログ再生を追求している方も多いという。そんななかで、英国のケーブルブランド、コード・カンパニーではLANケーブルのラインアップが充実。6種類のランクが揃い、さらに今回、同社が手がける新ブランド“イングリッシュ・エレクトリック”から、デビュー作となるスイッチング・ハブが登場した。そこで今回はこの新登場となるハブの実力を検証しながら、同社のLANケーブルの魅力に迫っていこう。



Text by

林 正儀

Masanori Hayashi



English Electric 8Switch

スイッチング・ハブ ¥98,000 (税別)



「8Switch」の背面。
LAN端子は8系統を装備

「8Switch」の背面。LAN端子は8系統を装備。最新の100/1000BaseTギガビットのイーサネットのポート8基を装備。端子は高級金メッキ。そして正確なクロックテクノロジー(TCXO)と温度補償水晶発振器を搭

ブ。それで一体どれだけ音が変わるのか？半信半疑な私である。ご存じの通り、コード社は様々なデジタルケーブルをリリースしてきた。その一環としてストリーミングデジタルケーブル(以下LANケーブル)を鋭意展開中だ。最高峰は36万円の「ミュージック」クラスまであり、これだけ多数のモデルを用意する背景には、よい音のLANケーブルが欲しいという要望の高まりがある。

●新登場のスイッチング・ハブ ケーブル開発で培ってきた ノイズ対策技術を投入する

製品名は「8Switch」(イト・スイッチ)だ。新しくEE(イングリッシュ・エレクトリック)というブランドを立ち上げての挑戦である。英国プリストル・ショウでの初のお披露目は今年の2月のこと。製品を取り扱うアンダンテラルゴの代表、鈴木さんに開発秘話を伺うと、コード社がこだわった点は、ハブ自身の発するノイズを劇的に低減すべく、回路やポート、外装ケース等々。これまで積み上げた同社のノウハウを徹底的に注ぎ込み、ようやく納得のいくスイッチング・ハブの完成にこぎつけたそうだ。英文の資料を見ると、最新の100/1000BaseTギガビットのイーサネットのポート8基を装備。端子は高級金メッキ。そして正確なクロックテクノロジー(TCXO)と温度補償水晶発振器を搭

載にてジッターを大幅に低減。電磁波や振動からの強力なノイズアイソレーションやメディアカル・グレードの高速電源などなど……ハイグレード設計だなどと驚いた。定評のあるLANケーブル「Cストリーム」が1本付属して、10万円を切るというハイCPさも魅力だ。

それにしても、ボディのシルエットにはRもついてカッコよく高級感もある。ポイントはその部から入る高周波数ノイズをどうガードするのだが、完全密閉されたコンパクトなアルミダイキャスト製なので、ノイズや放熱も安心である。

音の違いがここまで出るのか 圧倒的な情報量と柔軟な質感

試聴は比較のため「8スイッチ」のほかに、サイレントエンジェルという台湾製の製品とDELIAも用意。ここではハブと音楽を保存したNAS間は最高峰「コードミュージック」のLANケーブルで固定して比較しよう。曲はCDリップング音源で、ジョイス・カーの「スカイラーク」とLara Hanan eraの「カーニバル」だ。ハイレゾではないが、女性ヴォーカルのピーンと澄みきった第一声が違う。「8」はアナログ録

音らしいギスギスしない柔らかい質感と、穏やかで爽やか。汚れや不純物感のない、いかにも清楚で品のいい表情がすばらしい。音場情報も実につぶりだし、息づかいや間のとり方の何とナチュラルなことか。英語の発音がすっきり明瞭なものも、ジッターやノイズ対策をした「8」の御利益だろう。

ジョイス・カーのみずみずしい美声も「8」ではずっと聴いていたくなる。とはいえ、単独で他の2製品を聴いたらよいなど思うはずだ。サイレントエンジェルは3万5000円のハブとしてはクオリティのかなり満足だし、高価なDELIA「S100」の魅力も随所に発見できる。ただ、スイッチング・ハブで、これだけ音の違いが出るのかという貴重な体験をさせてもらった。

●6種類のLANケーブルを気聴き

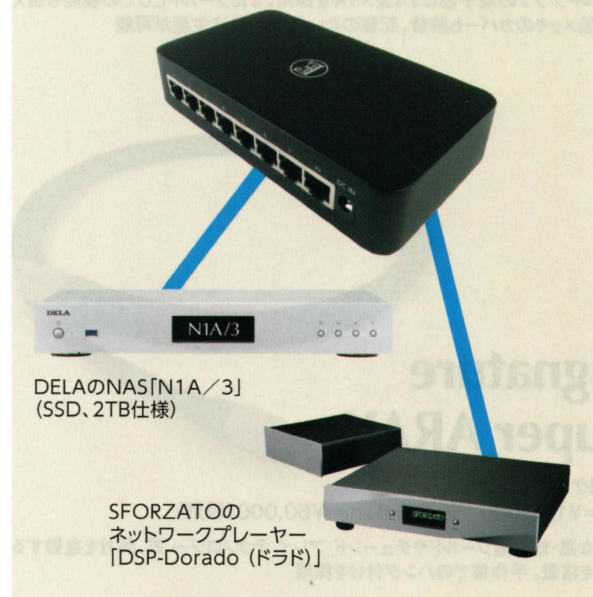
ハブ・NAS間での一斉比較 グレードによる差を検証する

もうひとつのテーマは、「8

■スイッチング・ハブのテスト方法

「8Switch」をはじめとした3機種を一斉比較

※ルーター→ハブ間のLANケーブルは「ショウライン」で固定



DELIAのNAS「N1A/3」
(SSD、2TB仕様)

SFORZATOの
ネットワークプレーヤー
「DSP-Dorado (ドロド)」

Topics

スイッチ」にコード社のLANケーブル全モデルをつなぎ、怒濤の一气聴き。これも初体験だ。エントリークラスの「Cストリーム」から最高峰の「ミュージック」まで6機種だが、独自のアレイ技術や素材をグレードによって使い分け、音決めをしているのだ。

試聴は「8スイッチ」のハブとDELAのNAS間で行おう（ハブとスウォルツアートのネットワークプレーヤー間は「シグネチャー」で固定）。参考のため、市販で数百円のLANケーブルでまず聴いておく。かなり酷い。伝送性能が悪いため耳に刺さってナローレンジだし、ヴォーカルは圧縮音声のよう。「カーニバル」ははぐれず音が固まってダンゴ状。市販品はこの程度だと知って欲しい。

①「Cストリーム」
(80000円/0.75m)
すべてのオーディオ的要素がバランスよく、表情が豊かに

さあここからコード社の製品が続く。いきなり来たか。エントリーの「Cストリーム」と最初の市販ケーブルとは、月とスッポンの大変化だ。音そのものがはぐれてナチュラルかつのびやかに。すべてのオーディオ

的要素がバランスよく向上。ヴォーカルやバンドものも格段にクリアで生き生きと表情豊かになった。これでこそ音楽鑑賞に値する。

②「ショウライン」
(3万80000円/0.75m)
エネルギーで空間が密もう一段上の再現性を生む

「Cストリーム」はそれで十分なのではと思えるクオリティだったが、「ショウライン」でもう一段上がる。S/Nや微弱音のレスポンスが向上。ジョイス・カーの感情を込めていねいに歌うヴォーカルの再現力が上がり、「カーニバル」はよりエネルギーで空間が密。大音量までスムーズにのびてくれた。

③「エピック」
(8万60000円/1m)
豊潤な響きが全く違う表情もより克明に再現

中堅ミドルの「エピック」やこの次に試聴する「シグネチャー」になると、コード社のポリシーの延長上でさらに伝送能力とグレード感が増す印象だ。「エピック」では「カーニバル」のスケールの大きな華やかさや、ヴォーカルの豊潤な響きが全く違う。音域が広がって表情もい



①
The Chord Company
C-Stream

LANケーブル
0.75m=¥8,000 / 1.5m=¥9,000 /
3m=¥11,000 / 5m=¥14,000 /
10m=¥19,000 / 15m=¥28,000 /
20m=¥38,000 (税別)

2本ずつ束ねてシールドした上で、全てをまとめてもう1度シールドする2重設計。高周波ノイズの影響が特に大きいストリーミング環境において真価を発揮する。金メッキ（ダイレクトプレーティング）を施したモールドプラグを採用



②
Shawline

LANケーブル
0.75m=¥38,000 / 1.5m=¥42,000 /
3m=¥50,000 / 5m=¥68,000 (税別)

モールドプラグの端子部に24金メッキを採用。またシールドとしての機能も備えた亜鉛メッキのカバーも装着。記載のない長さも、受注生産が可能



③
Epic

LANケーブル
1m=¥86,000
延長分@1m=¥10,000 (税別)

非常に繊細な作業を要するため、LAN端子としては異例となる手作業でのハンダ付けを採用（圧入による接続が一般的）。



④
Signature Super ARAY

LANケーブル
1m=¥140,000 延長分@1m=¥50,000 (税別)

厳重な高・低周波シールドやチューンドアレイテクノロジー等、同社を象徴する技術を搭載。手作業でのハンダ付けを採用

5

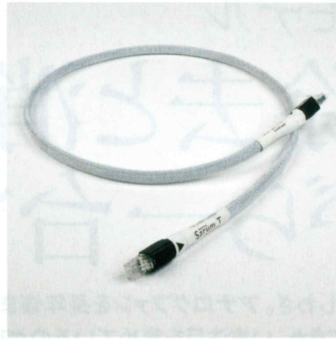
The Chord Company Sarum T Streaming Lan

LANケーブル

1m=¥400,000 延長分@1m=¥170,000(税別)

※旧SarumからSarum Tへのアップグレード=¥220,000(1m・税別)

最高峰の「コードミュージック」のみに採用されていた新開発の絶縁材「タイロン」を投入。スーパーアレイテクノロジー、厳重な高・低周波シールド、ダイレクト銀メッキ(施工前後に表面を研磨)を施した高品位な無酸素銅線等々、同社のハイエンドモデル



つそう克明になった。

4「シグネチャー」

(14万円/1m)

価格差を超越した倍以上の効果
これぞ音返し(おんがえし)。

ここで思いついた。「エビツク」と「シグネチャー」では値段が倍であるが、どれだけ音質に差があるものだろうか?と。少し変わったくらいではユーザ

6

The Chord Company Chord Music

LANケーブル

1m=¥760,000 延長分@1m=¥340,000(税別)

同社の最高峰シリーズ。新開発の絶縁材「タイロン」と最高レベルの高周波シールド、磁気シールドを採用です。同社アレイテクノロジーの最上級「スーパーアレイテクノロジー(※)」やダイレクト銀メッキ(施工前後には表面を研磨)も採用。同社の理想を集約させた旗艦モデル



1も納得しないはず。そんな思いで聴くと、「シグネチャー」の音は優に2倍を越えていた。美声のシンガーがそこにいる。その気配と体温感までリアルに伝える生々しさだし、お祭り騒ぎはさらに盛り上がりつつ空間力と集中力が漲ったのだ。ドラマの半沢直樹ではないが、倍返しならぬ恩返し、いや音で返すから、これぞ「音返し(おんがえし)

し」だろう(笑)。

5「セイラムT」

(40万円/1m)

6「ミュージック」

(75万円/1m)

エネルギーも音数も膨大な空間にのみこまれる感覚

最高峰の2モデル「セイラムT」と「ミュージック」は、もはや別次元である。価格も急上昇だが、これに見合う以上のサウンド。生以上に生々しいジ

LANケーブルのテスト方法



この間で6ランクのLANケーブルを一斉比較

※ネットワークプレーヤー→ハブ間のLANケーブルは「シグネチャー」で固定

最新のネットワーク再生でも進化を加速させる
コード・カンパニーの躍進に期待が高まる

ヨイス・カーの女神のようなヴァーカルや、カーニバルのまつただ中に放りこまれた感がすごい。その放射エネルギーと音数も膨大、巨大な空間にのみこまれる感動である。「セイラムT」と「ミュージック」の差は読者にご想像いただきたいのだが、高価なLANケーブルの差を正確に描き分ける「8スイッチ」の性能にもあらためて驚かされた次第。まさしくコードマジックといえるものだ。

●「グラウンドアレイ」(LAN仕様)を追加
NASへの対策が効果的
絶妙の質感描写を生み出す

最後に番外編的ではあるが、コード社から発売されている話題のノイズ・ポンプ(ノイズ吸収プラグ)の「グラウンドアレイ」を差したらどうなってしまうのか?確認しておきたい。

ハブかNASか、どちらの方がより効果があるのか?それぞれの空き端子にLAN仕様の「グラウンドアレイ」を差してみると、どちらも明白な効果を見せてくれたが、今回はどのメー

カーのハブを使用しているかにもよるが、NASに差した方がより効果は高かった。曲によっても違いはあるのだが、「コードミュージック」のLANケーブルを使用した時と傾向がよく似ている。背景の決定的な静けさが透明さやしなやかさを引き出し、とにかく質感描写が絶妙だ。低音域も豊かで反応がよく、精密なテクスチャーと立体的なコントラスト感が構築されるからたまらない。

「グラウンドアレイ」に続き、今回登場した「8スイッチ」やLANケーブルの充実したラインアップも含め、最新のネットワーク再生でも進化を加速させるコード・カンパニーの躍進に期待が高まる。



最後にDELAのNASの空き端子にノイズポンプ・プラグ「Ground ARAY」(¥88,000/税別)のLAN仕様を装着。その効果を確認した

アンダンテラルゴの1週間貸出しサービス

同時に3製品まで、製品の受け取りから1週間の試聴が可能。
同社のホームページにて貸出し製品のラインアップや受付を実施中。

■問い合わせ先: アンダンテラルゴ(株)
TEL:0120-77-3412(平日10:00-19:00)
〒189-0013 東京都東村山市栄町2-31-16-201

